

公益財団法人群馬県スポーツ協会

平成29年度事業報告

Ⅰ 生涯スポーツの振興に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図った。

ア) 健康・体力づくり巡回指導

市町村・各教育委員会等へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等のニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣した。

○健康スポーツ指導者バンク登録者	132人		
○巡回スポーツ指導	県内各地	745会場	29,459人
○健康スポーツ指導者指導実績	県内各地	12,392会場	200,957人

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、20歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間（理論8時間・実技16時間）のカリキュラムで講習会を開催し資質向上を図った。

期 日 平成30年1月27日（土）～28日（日）、2月3日（土）～4日（日）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 49人

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催した。

期 日 平成29年7月1日（土）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 54人

(2) 生涯スポーツ普及事業

健康・体力づくりのスポーツ指導者及びスポーツ愛好者、生涯スポーツ関係団体を対象に楽しめるニュースポーツを紹介するとともに、生涯スポーツ関係組織との連携を図り、生涯スポーツの普及・振興を図った。

ア) 生涯スポーツ講習会

期 日 平成29年8月27日（日）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 93人

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、県民が日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進するため、また、全市町村に少なくとも一つはクラブを育成するという目標に未育成町村解消に向けて実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、地域の実情を把握するため現地に出向いてヒアリング等を行った。

ア) 総合型地域スポーツクラブ支援事業

県内の総合型地域スポーツクラブの円滑な活動及び設立に向けた取り組みの活性化を図ることを目的とした群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である生涯スポーツの振興に寄与することに繋がると考えることからその運営に対し支援・連携をする。

イ) アシスタントマネージャー養成講習会

総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が快適にスポーツライフ（クラブライフ）を送ることができるよう、経営資源を適切に確保し、円滑に活用するために必要なマネジメントの基礎知識を有する人材を養成する。

○現地ヒアリング実績 10市町村

○アシスタントマネージャー養成講習会

県内8名 県外6名 計14名

○県内総合型スポーツクラブ育成状況

クラブ数 26市町村43クラブ

育成率 74.3% (26/35市町村)

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) スポーツ体験事業

本県スポーツ人口の底辺拡大を図るため、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快感、楽しさを味わってもらうための教室を開催した。

ア) チャレンジスポーツ教室

・加盟競技団体 16団体、加盟地域団体 2団体 参加者数 1,883人

イ) プロスポーツ選手等との交流教室

○群馬クレインサンダーズ

期 日 平成29年7月15日(土)

会 場 県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ

参加者数 144人

○渡部絵美スケート

期 日 平成30年1月6日(土)

会 場 県総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 43人

(2) 教室・公開講座開催事業

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間との交流の輪を広げることを目的に施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催した。

ア) テニス公開講座

期 日 平成29年4月26日～11月15日(水曜日 計13回)

会 場 県総合スポーツセンター テニスコート

参加者数 521人

イ) 初心者アイススケート教室

期 日 第1回目 平成29年12月12日(火)～15日(金)

第2回目 平成30年1月16日(火)～19日(金) 各4日間

会 場 県総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 第1回 98人、第2回 108人

ウ) エンジョイ健康教室

期 日 前期 平成29年4月19日(水)～7月26日(水) 43回

中期 平成29年9月6日(水)～11月29日(水) 33回

後期 平成29年12月6日(水)～2月23日(金) 39回

水曜日・金曜日の午前と午後 計115回

会 場 県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ

参加者数 1,760人

(3) 総合スポーツセンター管理運営事業

利用者の立場に立ち、生涯スポーツの振興、県民体力の保持増進、競技力向上を目指し、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県ぐんまの実現に向けて、多種・多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供するための、管理運営を実行した。また、この施設の設置目的を達成するため、管理運営上の基本方針、環境保護策等を的確に把握し、県内唯一のスポーツ団体として、いかなる社会状況下に置いても、県民へのサービス向上を第一に、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター、本館、ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリーナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、スポーツ資料館、その他の附属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、大規模なスポーツイベント等の受け入れや実施事業を積極的に行い、効果的な施設の活用を図った。

○大規模大会の利用状況（67大会）

4月5日	平成29年度群馬大学入学式	3,000人
16日	県ダンススポーツ連盟ダンススポーツ大会	2,300人
16日～30日	前橋市中体連バレー・バスケットボール部春季大会	3,430人
22日～23日	県高体連弓道専門部春季大会	2,300人
28日	学校法人昌賢学園親睦スポーツ大会	1,230人
29日	県空手道連盟第17回空手道フェスティバル	1,095人
30日	県ボールルームダンス連盟 関東甲信越前期競技ダンス大会	1,310人
5月3日～5日	第4回東日本クラブバスケットボール大会	2,400人
6日～7日	新体操女子全国9ブロックU-12	820人
7日	第28回県スポーツ少年団空手道交流大会	1,680人
12日～28日	県高校総合体育大会各種競技会	8,000人
21日	総群馬創価青年大会	5,000人
6月2日～4日	平成29年度関東高等学校バドミントン大会	1,460人
4日	県剣道連盟全国道場対抗・全国道場少年大会	1,200人
4日	県中体連ソフトテニス部県春季大会	1,500人
17日～18日	県高体連剣道専門部インターハイ予選	1,800人
24日	県中体連ソフトテニス部関東中学校選抜研修会	1,450人
24日～25日	県高体連空手道専門部インターハイ予選	2,100人
7月8日	県ドッジボール協会夏の全国小学生選手権県大会	1,080人
15日～16日	第72回国民体育大会関東ブロックなぎなた競技	530人
17日	第38回県中学生空手道選手権大会	1,400人
21日～23日	第72回国民体育大会関東ブロック弓道競技	696人
28日～30日	平成29年度第52回群馬県中学校総合体育大会	6,060人
29日～30日	第72回国民体育大会関東ブロック山岳競技	310人
8月5日～8日	第52回関東中学校バレーボール大会	2,590人
5日～27日	第72回国民体育大会関東ブロック各種競技会	11,150人
9日～11日	第2回月刊バスケットボールCUP	2,490人
12日	スマイルフェスティバルin前橋2017	1,850人
15日	平成29年度群馬県戦没者追悼式	1,900人
17日	第20回群馬県小学生バンドフェスティバル	3,100人
27日	第48回関東空手道選手権大会	1,500人
9月2日	第34回県マーチングバンド・バトントワリング大会	1,100人
2日	第46回群馬県レクリエーション大会	880人
3日・9日	全日本卓球選手権大会群馬県予選会	850人
15日～18日	第36回全日本ジュニアバドミントン選手権大会	3,700人
10月1日	第23回西関東小学校バンドフェスティバル	3,000人
7日～8日	第28回群馬県私立大学スポーツ大会	1,600人
7日～8日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま	9,000人
21日～22日	第10回上毛新聞社旗争奪高校剣道大会	2,000人
26日～27日	ぐんまねりんピック2017	3,880人
29日	第19回関東ドッジボール選手権	1,800人

29日	関東甲信越競技ダンス大会	800人
11月11日	県オープンドッジボール選手権大会	1,180人
11日・19日	J A 共済カップ県小学生総合体育大会ミニバス大会	1,435人
12日	第55回群馬県民体育大会秋季大会	1,800人
18日	第4回ぐんま武道フェスティバル	580人
24日～26日	第86回全日本フィギュアジュニア選手権大会	1,750人
26日	県フォークダンス協会創立60周年記念大会	1,540人
12月2日～3日	第5回全国ベテランオープン卓球ぐんま大会	740人
2日～3日	県小学生総合体育大会柔道競技	800人
2日～16日	県テニス協会ぐんまオープンジュニアトーナメント	450人
16日～17日	前橋市バスケットボール協会前橋市長杯	950人
23日～24日	関東中学校バスケットボール交流大会	850人
1月6日～8日	県ミニバスケットボール連盟J A カップ全国予選大会	1,600人
14日	県空手道連盟 第41回県小学生総体	970人
28日	県中体連ソフトテニス部 関東中学校インドア大会	460人
28日	県空手道連盟 第10回道場対抗空手道大会	970人
2月4日	第71回上毛かるた競技県大会	1,170人
10日～11日	東日本少年柔道大会	1,900人
12日	第28回東日本如月剣道大会	1,800人
18日	第38回群馬県なわとび競技大会	4,350人
24日	第27回ミルクカップドッジボール選手権大会	3,100人
3月3日	春の関東ドッジボール選手権大会	456人
17日～18日	東日本中学校選抜剣道大会	3,450人
21日	富士大石寺顕正会北関東大会	7,000人
23日	平成29年度群馬大学各位記授与式	3,000人
25日～28日	第15回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	1,390人

・利用者数

平成29年度利用者数は、ぐんまアリーナ352,864人、ぐんま武道館368,030人、サブアリーナ118,414人、本館46,496人、アイスアリーナ35,747人、テニスコート（会議室を含む）157,824人、ふれあいグラウンド86,687人、宿泊室4,387人、仮設アーチェリー場2,636人の合計1,173,085人であった。
月別等の内訳は別表(24頁)のとおりである。

ウ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課の協力のもと、下記工事を実施した。

- ・サブアリーナリード競技用クライミングウォール設置工事
- ・ぐんまアリーナ給湯循環ポンプ交換
- ・ぐんまアリーナ吸収式冷温水機燃焼部品交換工事
- ・ぐんまアリーナ空調設備インバーター交換工事
- ・ぐんまアリーナ・ぐんま武道館折りたたみ机更新
- ・ぐんま武道館大道場フローリング補修
- ・本館機械室配管保温材飛散防止及び除去処分工事
- ・ぐんま武道館弓道場囲いフェンス等改修工事
- ・アイスアリーナ調整槽ポンプ配管改修工事
- ・ぐんまアリーナトランポリン補修
- ・ぐんまアリーナ玄関屋根・トップライト修繕工事

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を利用料金収入として計上した。平成29年度の利用料金収入は74,443,370円であり、内訳は別表(25頁)のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター施設の無料開放を次のとおり実施した。

①アイスアリーナ以外の施設			
・県民スポーツの日（毎月10日）	利用者数	10,813人	
・県民の日（10月28日）	利用者数	880人	
②アイスアリーナ			
・開館初日（10月1日）	利用者数	234人	
・県民の日（10月28日）	利用者数	511人	
・開館期間中の毎月第2・第4土曜日 （小中学生対象）	利用者数	1832人	

カ) 季刊誌の発刊

当施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに作成し、利用者や来館者に対して施設の利用方法や大会予定、各種教室の紹介等を行った。
・発行部数 NO.25号～NO.28号 各号 4,000部

(4) 伊香保リンク管理運営事業

伊香保リンクの「設置目的（県民の体力増進・スケート及びアイスホッケーの競技力向上並びに普及振興を図り、各競技の選手強化や大会開催、スポーツだけでなく、地域の活性化に不可欠な施設）」を最大限に有効に管理・運営を総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター伊香保リンク、屋外400mリンク、屋内第1リンク、屋内第2リンク、リンクハウス、審判棟、管理棟、競技運営棟

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、伊香保リンクを地域活性化の資源とすべく県、渋川市等の関係団体と積極的に連携してイベント等を実施するなど効果的な施設の活用を図った。

○大規模大会の利用状況（8大会）

10月 7日～ 8日	群馬少年親善アイスホッケー大会	1,705人
11月 4日～ 5日	伊香保カップアイスホッケー大会	1,788人
11月26日	全日本女子アイスホッケー選手権関東ブロック	340人
12月 1日～ 3日	全日本スピードスケート学生選手権大会	1,700人
3月 3日～ 4日	群馬少年親善アイスホッケー大会(低学年)	1,008人
3月10日～11日	群馬少年親善アイスホッケー大会(高学年)	1,265人
3月17日～18日	関東甲信越社会人アイスホッケー大会	195人
3月24日～25日	伊香保スプリングカップアイスホッケー大会	1,000人

・利用者数

平成29年度利用者数は、屋内第1リンクは14,434人、屋内第2リンク11,685人、屋外400mリンク6,983人、個人利用7,031人、リンクハウス3,525人の合計43,658人であった。

なお、平成29年度の目標であった2万人を突破することができた。

月別等の内訳は別表(26頁)のとおりである。

ウ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課の協力のもと、下記工事を実施した。

- ・屋内第1リンク屋上防水工事
- ・リンク入口看板設置・改修工事
- ・屋内第1リンク天井部分塗装工事
- ・敷地内の外構等修繕工事
- ・リンクハウス出入り口自動ドア修繕
- ・アイスカッティングマシン更新
- ・整氷車ブレード(長2枚 短2枚)購入
- ・スパーサーの購入

- ・コインロッカー及びベンチの設置
- ・屋内リンクフェンス(ポリカーボネイト)の購入
- ・リンクハウスから屋外リンクへのスロープ及び手すりの設置
- ・競技運営棟ボイラー及び揚水ポンプ等改修
- ・屋内リンク電球交換
- ・第2リンク前通路改修工事
- ・競技運営棟及び管理棟のトイレ設備改修工事

○小・中規模修繕等

本協会の予算の範囲内で、下記修繕等を実施した。

- ・事務室、管理室、リンクハウス改修工事
- ・リンクハウストイレ改修工事
- ・リンクハウス更衣室改修工事
- ・リンクハウス前駐車場区画線工事
- ・貸し靴コーナーの改修
- ・リンクハウス正面玄関上看板設置
- ・リンクハウス各所流し台等の改修
- ・競技運営棟・管理棟の洋式トイレウォシュレットの改修
- ・審判台の修繕
- ・喫煙場所の囲いの設置
- ・屋外リンク地下通路の屋根の増設

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を県へ納付した。

平成29年度の県へ納付した額は13,934,330円であり、内訳は別表のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター伊香保リンク施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター伊香保リンクの無料開放を次のとおり実施した。

① 県民の日 (10月28日) 屋内第一リンク 利用者数 253人

カ) 広報活動

伊香保リンクの一般開放日拡大に伴い、一般の方に広く周知するため渋川市及び渋川伊香保温泉観光協会等と連携した広報活動を次のとおり実施した。

① チラシ等の配布

伊香保リンクのチラシ30,000枚、ポスター600枚、のぼり旗50枚を作成し伊香保温泉の各旅館への配布するとともに、観光、公共施設に設置をした。

さらに、伊香保リンクを地域の観光資源とすべく、訪日外国客(インバウンド)を増やすため英語、台湾語のパンフレットも作成した。

② ホームページの作成

本協会ホームページ内に伊香保リンク専用ページを開設した。

③ デジタルサイネージ広告

大規模商業施設4箇所に一ヶ月間CM放映を実施した。

④ のぼり旗の設置

伊香保の石段街や渋川伊香保温泉観光協会周辺、さらにロープウェー等に伊香保リンクののぼり旗を設置し周知を図った。

キ) 伊香保リンクを活用した地域活性化促進事業

伊香保リンクを地域活性化の資源とするべく県、渋川市、本協会の3者が協働して次の事業を実施した。

① 伊香保リンクグランドオープンセレモニー

期 日 平成29年11月5日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外400mリンク

参加者数 235人

- ②初心者スケート教室（渋川市への委託事業）
 期 日 平成29年11月4日、11日、18日、25日、12月2日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク
 参加者数 298人
- ③初心者アイスホッケー教室（渋川市への委託事業）
 期 日 平成29年12月3日、9日、23日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク
 参加者数 49人
- ④伊香保リンク祭り（渋川市への委託事業）
 期 日 平成29年12月29日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク
 屋外400mリンク、屋内第1リンク
 参加者数 1,245人
- ⑤伊香保リンクイルミネーション（一部渋川市への委託事業）
 期 日 平成29年12月23日～平成30年1月8日
 会 場 伊香保リンク屋外リンク及びリンクハウス玄関前
 時 間 午後4時から午後9時まで
- ⑥伊香保リンク感謝DAY
 期 日 平成30年2月25日
 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク・屋内第1リンク
 参加者数 508人

（5）スポーツ情報提供事業

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する情報を本協会ホームページ及び刊行物等で発信することにより、スポーツ活動に対する理解やスポーツへの興味関心を高め、県民により多くのスポーツの機会を提供した。

ア) ホームページの運営

本協会の組織や各種事業の紹介、また国民体育大会やスポーツ少年団各種大会等の結果を掲載したり、各種スポーツ教室等の開催要項や県総合スポーツセンター各施設の利用情報を掲載するなど広く県民にスポーツの情報を発信した。

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」、「年報」を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布した。

- | | |
|---------------------------------|------|
| ①「ぐんまのスポーツ」事業紹介・各種大会の結果等（年2回） | 650部 |
| ②「年報」毎年の事業記録、事業報告や研究調査の成果等（年1回） | 600部 |

ウ) スポーツライブラリー

県総合スポーツセンタースポーツ資料館内にスポーツ情報提供コーナーを設置し、スポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを行った。

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

（1）青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や想像性など、生きるうえで基本となる豊かな情操を養う。また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的に下記事業を実施した。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図り、青少年スポーツの健全な発展を目的として下記大会を実施した。

- 第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会
 期 日 平成29年5月7日(土)～6月25日(日)
 実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン 計5競技
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 参加団員数 1,683人
- 第53回群馬県スポーツ少年団大会
 期 日 平成29年8月5日(土)～13日(日)
 実施種目 サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール・卓球・柔道・剣道・レスリング 計8競技
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 参加団員数 4,502人
- 群馬県スポーツ少年団競技別交流大会
 期 日 平成29年5月27日(土)～平成30年3月4日(日)
 実施種目 軟式野球・バレーボール・バドミントン・ソフトテニス・ソフトボール・柔道・スケート・スキー 計8競技
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 参加団員数 4,811人
- 第15回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
 団員にスポーツの歓びを経験する機会とより伸びるための研修の場を与え、バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連携を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的とした。
 期 日 女子 平成30年3月25日(日)～3月28日(水)
 男子 平成30年3月25日(日)～3月27日(火)
 会 場 開・閉会式 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ
 前橋市 ALSOKぐんま総合スポーツセンター
 ぐんまアリーナ・サブアリーナ・ぐんま武道館
 渋川市 渋川市子持社会体育館
 参加団員数 759人

○スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期 日	会場及び競技	参加者数
全国スポーツ少年大会	平成29年7月28日(金)～31日(月)	新潟県妙高市	7人
関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	平成29年7月28日(金)～30日(日)	埼玉県 軟式野球・バレーボール・ミニバス・バドミントン 空手道(6チーム)	113人
関東ブロックスポーツ少年大会	平成29年8月4日(土)～6日(日)	山梨県北杜市	11人
全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	平成30年3月25日(日)～28日(水)	群馬県 バレーボール	40人
全国スポーツ少年団剣道交流大会	平成30年3月25日(日)～27日(火)	東京都足立区 剣道	8人

イ) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位団及び登録指導者を表彰した。また、顕著な功績のあった者へ感謝状を贈呈した。

○功労者・優良単位団表彰式

期 日 平成30年2月18日(日)
 会 場 県総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
 受賞者人数 群馬県表彰 優良単位団27団体 功労者51人
 日本本部表彰 市町村表彰1市2町 功労者4人

ウ) スポーツ少年団指導者養成等事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会を開催した。地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダースクールを開催した。

事業名		期日及び会場	参加者数
講習会・研修会	育成母集団研修会	平成29年 7月22日 (土) 中之条町	29人
	ジュニア・リーダースクール	平成29年8月11日(金)～13日(日) 国立赤城青少年交流の家	43人
	認定員養成講習会 (兼スポーツリーダー養成講習会)	平成29年9月2日(土)～3日(日) 高崎健康福祉大学	273人
		平成29年9月18日(月)・23日(土) 高崎健康福祉大学	100人
	認定員再研修会	平成29年12月3日 (日) 県総合スポーツセンター	46人
	指導者研究大会	平成30年 1月21日 (日) 県総合スポーツセンター	37人

エ) スポーツ少年団フェスティバル

交歓・ゲーム活動を通して、団員相互の交流を図り、青少年のこころとからだを育てるとともに、それぞれの少年団や地域において活躍のできる中学生・高校生リーダーの育成を図った。

期 日 平成30年2月18日 (日)
会 場 県総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
参加者数 610人

オ) 日独スポーツ少年団同時交流事業 (派遣)

両国間の優れた青少年指導者・団員が、同期間に同人数を相互に交換 (派遣・受入) する同時交流を行い、スポーツ活動や民泊を取り入れ相互の文化・生活習慣を実際に体験することで、相手の国や文化を理解することや共通テーマに基づくディスカッション等により交流を深め、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、日独両国間の交流事業を実施した。
なお、平成29年度は、ドイツへ団員を派遣した。

期 日 平成29年7月31日 (月) ～ 8月17日 (木)
派遣先 ドイツ連邦共和国
派遣人数 団員2人

カ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県スポーツ少年団登録指導者の相互の連携と指導力向上を図り、単位団活動におけるより質の高い指導方法について研究協議するとともに、各都県スポーツ少年団のさらなる発展に資するため研究協議会を開催した。

期 日 平成29年11月4日 (土)・5日 (日)
会 場 高崎市 高崎ビューホテル
参加者数 60人 (関東各都県スポーツ少年団指導者代表・リーダー育成担当・事務担当者)

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業

スポーツによって、年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の2つの大会を受託事業として開催した。

- ア) ぐんまねんりんピック2017（県長寿社会づくり財団からの受託）
 スポーツや文化活動を通じて、高齢者の健康の保持増進と交流を図り、県民総スポーツの輪を広げるとともに、生きがいづくりを進め、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを推進した。

期 日 平成29年10月27日（金）
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 対 象 県内在住の昭和34年4月1日以前に生まれた人で、大会参加に支障のない健康な者

種 目 ゲートボール、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、ソフトバレーボール、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン
 参加者数 1,805人

- イ) 群馬県障害者スポーツ大会2017（県障害者スポーツ協会からの受託）
 障がい者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障がい者スポーツの発展を図るとともに、県民の障がい者に対する正しい理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加を促進した。

期 日 平成29年9月18日（月）・24日（日）
 会 場 県立ふれあいスポーツプラザ
 対 象 小学校1年生以上の身体障がい者
 種 目 陸上、水泳、軽スポーツ
 （18日の陸上・軽スポーツは雨天のため中止）
 参加者数 86人

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業

現代の生活環境では運動不足や食生活の変化、日常生活のストレスの増加により生活習慣病などの問題を抱える人が増えている。そのため、県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上が図れるよう「県民体力づくり相談事業」として、県民のスポーツニーズ（レベル）に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施した。

- ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日体協公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医学的な検査を行った。さらに、栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が、個々の食生活についてアドバイス・指導を行った。これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導することで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートを実施した。

○県民へのメディカルチェック・体力測定等の実績

測定の種類等	実施日数	測定者数	一般	競技者
健康・体力測定	11日	126人	5人	121人
新体力測定	20日	1,172人	1,046人	126人
体力測定	3日	45人	0人	45人
筋力測定	11日	136人	0人	136人
最大酸素摂取量測定	4日	4人	4人	0人
合計	49日	1,483人	1,055人	428人

- イ) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム予防のための運動指導
 企業や高齢者団体に対して体力測定を積極的に行い、日常生活の中で身体活動をより一層取り入れ、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防を図り、健康・体力の保持増進が図られるよう運動指導を行った。

出張新体力測定 年10回 延参加者 283人

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業

県民が生涯にわたり、安全で効果的にスポーツを行うことができるよう、薬物に対する意識を高め、スポーツ障（傷）害への対処方法等を指導し、健康状態に応じたスポーツを行うことができるよう下記事業を実施した。

ア) アンチドーピング推進活動事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物使用・誤用への認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施した。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体結団式での選手・監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努めた。

○アンチ・ドーピング指導

期 日 平成29年8月16日（水）・9月1日（金）・9月21日（木）
平成30年1月5日（金）・24日（水）
会 場 県総合スポーツセンター
対 象 国民体育大会 本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障（傷）害の予防や、効果的に競技力向上が達成できるように、日体協公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施した。また、県内のスポーツドクターの資質向上を図るため、スポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、スポーツドクター会員の定期的研修会の開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施し公認スポーツドクターの活動の充実を図った。

○スポーツドクター研修会

期 日 平成29年4月15日（土）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 91人

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナー養成講習会を実施した。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成29年11月16日（木）・17日（金）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 10人

エ) スポーツ医事相談事業

健康の保持増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防等について、電話等により相談を受けて、県内の公認スポーツドクター医療機関を紹介した。また、スポーツ医科学に関する講演会を日体協公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授、スポーツ医科学委員会等の協力のもと、各市町村10会場において、「スポーツ医科学講演会」を実施した。

No	市町村名	期 日	講 師	演 題	参加者数

1	富岡市	平成29年7月7日(金) 19時00分～20時30分	群馬大学医学部附属病院 理学療法士 武井健児	成長期における体幹トレーニング	113人
2	沼田市	平成29年7月19日(水) 19時15分～21時15分	原町赤十字病院 理学療法士 唐沢和彦	傷害予防のストレッチ	55人
3	安中市	平成29年8月29日(火) 19時00分～20時30分	管理栄養士 野口泰子	スポーツのための積極的食事方法 について	28人
4	前橋市	平成29年10月12日(木) 18時30分～20時30分	群馬大学医学部附属病院 理学療法士 武井健児	中高年のための体幹トレーニング	86人
5	藤岡市	平成29年10月18日(水) 19時00分～21時00分	上牧温泉病院 理学療法士 金城拓人	成長期における体幹トレーニング とストレッチ	77人
6	館林市	平成29年10月26日(木) 19時00分～21時00分	堀江病院 理学療法士 丸山広樹	家庭でもできる体幹トレーニング ～中高年の体幹トレーニング	93人
7	長野原町	平成29年11月9日(木) 19時00分～20時30分	原町赤十字病院 理学療法士 唐沢和彦	子どもから大人まで行える体幹 トレーニング	57人
8	高崎市	平成29年11月21日(火) 18時30分～20時30分	管理栄養士 野口泰子	スポーツと栄養（成長期に必要な 食事の摂り方）	116人
9	桐生市	平成29年12月14日(木) 19時00分～21時00分	堀江病院 理学療法士 丸山広樹	ジュニア期のトレーニングについ て（体幹トレーニングとストレッチ）	67人
10	渋川市	平成30年2月6日(火) 19時00分～20時30分	管理栄養士 野口泰子	『スポーツ栄養学』 「食育」～食事のチカラを味方に、 強いカラダづくり～	95人
10市町村					787人

Ⅲ 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会において、本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与すると考える。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等の諸事業を実施した。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し、本県代表として派遣した。

イ) 激励活動

国民体育大会へ出場する本県選手団を県当局と連携し、激励した。

大会名及び事業名	期日	会場及び競技名
第72回国民体育大会 関東ブロック大会	平成29年6月18日(日) ～12月17日(日)	群馬県下 カヌー競技ほか34競技 選手・監督 744人
〃 本大会会期前	平成29年9月9日(土) ～9月17日(日)	愛媛県下 水泳競技ほか4競技 選手・監督 46人
〃 監督会議・結団式	平成29年9月21日(木)	県総合スポーツセンターぐんま武道館 〃 第1研修室
〃 本大会	平成29年9月30日(土) ～10月10日(火)	愛媛県下 陸上競技ほか35競技 選手・監督 354人
第73回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	平成30年1月27日(土) ～2月1日(木)	山梨県・神奈川県スケート・アイスホッケー競技 選手・監督 43人
〃 冬季大会スキー	平成30年2月25日(日) ～2月28日(水)	新潟県 スキー競技 選手・監督 44人

ウ) 成績

第72回国民体育大会成績

天皇杯 22位(得点 952.0点) 皇后杯 17位(得点 612.5点)

第73回国民体育大会冬季大会成績

天皇杯 18位(得点 85.5点) 皇后杯 13位(得点 50.0点)

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

県民が、スポーツを安全で、正しく、楽しくできるように、指導・助言ができる公認スポーツ指導員の講習会を実施した。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等にあたる者を養成する事業であり、日本体育協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業として実施した。

また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題(指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント)について指導をした。

○公認スポーツ指導員養成講習会(専門科目)

対象競技団体 弓道競技

受講者数 60人

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための義務研修として開催するとともに、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導場面で実践できるような資質を向上させることを目的として年2回実施した。

○第1回スポーツ指導者研修会

期日 平成29年 8月27日(日)

会場 高崎健康福祉大学8号館206大講義室

演題 講演Ⅰ:「青少年スポーツ傷害予防」

講演Ⅱ:「トレーナーの役割」

参加者数 167人

○第2回スポーツ指導者研修会

期日 平成30年2月18日(日)

会場 高崎健康福祉大学8号館206大講義室

演題 講演Ⅰ:「スポーツ傷害予防とその処置」

講演Ⅱ:「スポーツと食事、成長期に必要な食事の摂り方」

参加者数 94人

ウ) スポーツ指導者協議会育成事業

県内の日体協会公認スポーツ指導者が共通認識を持ち、資質向上及び指導力向上を図ることを目的とした群馬県スポーツ指導者協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である指導者の育成に繋がると考えることからその運営に対し支援、助成をした。

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

本県が高い水準で安定した競技力を確保し、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、競技力向上の推進を図った。

ア) 団体対策推進事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校スポーツ団体の強化体制や強化組織の育成と、競技力の向上を図るために団体対策費として、各競技団体に補助金を交付した。

- ① 競技団体強化事業 (国体正式競技団体)
- ② 高体連強化事業 (県高等学校体育連盟)
- ③ 中体連強化事業 (県中学校体育連盟)
- ④ 関東ブロック突破等対策プロジェクト事業 (国体正式競技団体、県高等学校体育連盟)

イ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

本県競技力水準の一層の向上を図るため、体力・運動能力に優れたジュニア選手を早期に発掘し、適正な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、日本、世界へ通用するトップレベルの選手の育成を目指し、事業を実施した。

実施競技及び人数

スキー競技 22人・陸上競技 27人・水泳競技 20人・空手道競技 36人
ボウリング競技 30人・ゴルフ競技 31人・スケート競技 17人
レスリング競技 8人・馬術競技 8人 合計 199人

選考会

期 日 平成29年 5月28日 (日)
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 131人

認定式

期 日 平成29年 6月24日 (土)
会 場 群馬大学
認定者数 83人

研修会

期 日 平成29年12月 2日 (土)
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 146人

ウ) 拠点施設活用事業

公共スポーツ施設を活動拠点として、ジュニア育成等を中心とした競技スポーツクラブへ経費の一部を補助し、全国トップクラスの競技者の育成を目的とし、事業を実施した。

団体名	拠点施設名	団体名	拠点施設名
県スケート連盟	県総合スポーツセンター、伊香保リンク	県アイスホッケー連盟	県総合スポーツセンターアイスアリーナ、伊香保リンク
県スキー連盟	尾瀬ほたか高原スポーツパーククロスカントリーコース	群馬陸上競技協会	県立敷島公園補助競技場
県水泳連盟	県立敷島公園水泳場	県ホッケー協会	みなかみ町月夜野緑地施設内運動広場

県ボクシング連盟	安中市体育館、伊勢崎工業高校ボクシングジム、高崎工業高校ボクシングジム	県レスリング協会	邑楽町立南中学校
県ソフトテニス連盟	県総合スポーツセンターテニスコート、あかぼり運動公園テニス場	県弓道連盟	伊勢崎市あずま弓道場
県ラグビーフットボール協会	下豊岡グラウンド、八千代グラウンド、島村グラウンド	県アーチェリー協会	県総合スポーツセンター仮設アーチェリー場、前橋市民体育館弓道場

エ) ジュニア指導者派遣事業

ジュニア選手等の活動場所である運動部やクラブへ、情熱ある専門的指導者を派遣し、タレントの発掘・育成及び、一貫した強化体制の構築を図り、全国トップレベルのジュニア選手を育成することを目的とし、事業を実施した。

団体名	活動場所	指導種目	指導者名
県スケート連盟	孺恋高校	スケート	黒岩宗一郎
県スキー連盟	片品スキークラブ	スキー	飯塚 剛
群馬陸上競技協会	前橋育英高校	陸上(投擲)	高橋 輝
県アーチェリー協会	高崎商科大学附属高校	アーチェリー	大塚 謙史

オ) 一貫指導構築事業

全国・世界に通用する群馬県トップレベルの選手育成を目的に、各競技ごとの一貫指導体制を構築し、本県の競技力向上を図った。

実施競技団体名		
県スケート連盟	県レスリング協会	県ラグビーフットボール協会
県バレーボール協会	県ソフトテニス連盟	県山岳連盟

カ) 中学生特別強化事業

県中学校体育連盟に競技部が設置されていない競技団体を対象として、積極的にジュニア強化対策を推進している競技団体に対してジュニア強化事業費を補助し、全国トップレベルのジュニア選手を育成した。

キ) マネジメントコーチ推進事業

各競技団体にマネジメントコーチを適正に配置し、全国・世界レベルの競技者を育成する。また、各競技団体の強化組織体制を整備し、競技力向上対策の企画と推進により競技力の向上を図った。

○委嘱式

期 日 平成29年4月8日(土)
会 場 県総合スポーツセンター
委嘱者数 41人

○検討会議

期 日 平成30年2月3日(土)
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 24人

ク) スポーツセミナー

各競技団体、学校スポーツ団体並びに地域団体の中心的役割を果たしている指導者を対象に、指導力向上研修、スポーツ医科学研修等、実習を含めたスポーツセミナーを実施し、指導者の資質向上を図った。

期 日 平成29年12月9日(土)
会 場 県総合スポーツセンター
演 題 「ジュニア指導とシニア指導」
参加者数 151人

ケ) 中央指導者招聘事業

中央から優秀で実績のある講師を招聘して研修会を開催し、スポーツ指導者の養成・支援を行い、本県競技力水準の一層の向上を図った。

実施団体名		
県アイスホッケー連盟	県体操協会	県山岳連盟
県スキー連盟	県レスリング協会	県アーチェリー協会
群馬陸上競技協会	県自転車競技連盟	県ボウリング連盟
県水泳協会	県ソフトテニス連盟	県高等学校体育連盟
県テニス協会	県ソフトボール協会	県中学校体育連盟

コ) 優秀指導者現場研修事業

全国の優秀指導者が指導する現場で研修することにより、本県各競技団体の指導者の養成・資質向上を図った。

実施競技団体

県スケート連盟、県アイスホッケー連盟、群馬陸上競技協会、県水泳連盟、県レスリング協会、県自転車競技連盟、県ソフトテニス連盟、県カヌー協会

サ) 全国等競技力分析事業

国民体育大会本大会や冬季大会、関東ブロック大会の開催地に、選手強化委員や支援スタッフを派遣することにより、全国等の競技レベルを分析し、本県の競技力レベルの向上に役立てた。

大会名	選手強化委員	支援スタッフ
国体関東ブロック大会	5人	11人
国体本大会	5人	17人
国体スケート・アイスホッケー競技会	1人	1人
国体スキー競技会	1人	2人
合計	12人	31人

シ) 強化指定事業

国民体育大会において、優秀な成績を収めるため、競技団体・中体連・高体連・企業体等と連携を図りながら競技力向上を目指し、中学校・高等学校及び企業体等の優秀選手（運動部）を指定し、重点的強化事業の推進を図った。

平成29年度群馬県強化指定選手・運動部（冬季競技） 30人
 平成29年度群馬県強化指定選手・運動部（本大会競技） 300人 10部

ス) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究を実施し、強化現場にフィードバックを行った。

○本協会強化指定選手等のメディカルチェック・体力測定のフィードバックの実施

測定の種類等	実施日数	測定者数	成年	少年
健康・体力測定	18日	204人	39人	165人
体力測定	11日	60人	1人	59人
筋力測定	27日	260人	52人	208人
最大酸素摂取量測定	8日	46人	1人	45人
合計	64日	570人	93人	477人

セ) ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

○アスリートサポート事業

オリンピック・パラリンピックや国際大会で本県選手が活躍してもらうため、アスリートを支えるトレーナー等に係る経費の補助並びに、合宿や遠征費用等を補助した。

認定選手 18人

競技名	認定選手数	競技名	認定選手数
スキー	2人	フェンシング	2人
陸上	2人	ソフトボール	2人
水泳	2人	ラグビーフットボール	2人
ハンドボール	2人	パラリンピック陸上	1人
自転車	2人	パラリンピック水泳	1人

○ドリームロード事業

中学生アスリート及びその指導者を強化指定し、競技力向上の意識を高めた。

認定選手 18人

競技名		
スケート	ボクシング	卓球
スキー	バレーボール	柔道
陸上	体操（体操・新体操）	ソフトボール
水泳（競泳）	バスケットボール	バドミントン
サッカー	ハンドボール	トライアスロン
テニス	自転車	

認定指導者 12人

競技名		
スキー	体操（体操・新体操）	柔道
陸上	バスケットボール	ソフトボール
水泳（競泳）	自転車	バドミントン
テニス	卓球	

10 競技力向上支援に関する事業

（1）オリンピック・パラリンピック選手支援事業

オリンピックや世界大会等において活躍が期待できるが、活動費等が十分でない現役トップアスリートを支援し、本県スポーツの競技力向上を図った。

なお、活動支援の財源は協力企業からの寄付金とした。

支援選手名	競技名	主な成績
諸貫 瑛美	水泳	国民体育大会水泳競技 成年女子 100m背泳ぎ 1位

（2）ぐんまのスポーツ環境整備支援事業

2028年2巡目ぐんま国体の開催が決定し、本県スポーツ選手の発掘及び育成の観点から加盟競技スポーツ団体のスポーツ環境整備を支援し、競技力向上を図る支援をした。

競技団体	内容
群馬県ボウリング連盟	レーンメンテナンスマシーン（アメリカ製） 公認

（3）大会等支援事業

各種大会の開催及び海外派遣選手に対し支援することで、県民のスポーツへの興味関心を高め、スポーツの底辺拡大を図った。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会（オリンピック・世界選手権・アジア大会等）に参加することは、県民へのスポーツの興味関心を高めるとともに夢と感動を与えることから、海外競技会に参加する選手等に対し、壮行金を交付した。

大会名	交付者数
オリンピック出場者	2人
世界選手権出場者	6人
その他の国際競技大会出場者	20人

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会開催のために補助金を交付し児童のスポーツ普及・育成を図った。

- 第47回小学生水泳記録会
期 日 平成29年8月8日(火)
会 場 県立敷島公園水泳場
参加者数 台風のため中止
- 第46回小学生陸上記録会
期 日 平成29年10月28日(土)
会 場 正田醤油スタジアム群馬
参加者数 1,671人

○群馬県小学校体育学習研修会

期 日 平成29年7月25日(火)
会 場 高崎アリーナ
演 題 「改訂要領を見据えたこれからの小学校体育のあり方」
参加者数 230人

ウ) 県民体育大会補助事業

県民を対象に開催している県民体育大会の実施競技団体に補助金を交付し大会の支援を行った。

大会名	期 日	会 場	成績及び人数
夏季大会 (水泳)	平成29年8月20日(日)	県立敷島公園水泳場	優 勝 前橋市 参加者数 533人
秋季大会 (21競技)	平成29年11月5日(日) ・12日(日)	県総合スポーツセンター 他15会場	市の部優勝 高崎市 郡の部優勝 吾妻郡 参加者数 6,445人
冬季大会 (スケート)	平成30年2月3日(土)	県総合スポーツセンター 伊香保リンク	優 勝 渋川市 参加者数 242人
冬季大会 (スキー)	平成30年2月17日(土) ・18日(日)	丸沼高原スキー場	優 勝 渋川市 参加者数 305人

(4) スポーツ顕彰事業

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え、競技力の向上とスポーツの振興及び郷土意識の高揚に資することを目的に下記の表彰を行った。

○群馬県スポーツ協会長賞表彰

期 日 平成30年2月17日(土)
会 場 県総合スポーツセンター
受賞者数 特別功労者賞 1人
スポーツ功労者賞 46人
最優秀選手賞及び最優秀指導者賞 144人
優秀選手賞 294人
ジュニアスポーツ奨励賞 130人
合 計 615人
感謝状 23団体

IV 本協会の運営

1 理事会等の運営

会議等名	期 日	議事等
理 第20回理事会(通常)	平成29年 5月30日(火)	平成28年度事業報告及び収支決算、評議員・理事・監事・名誉会長・委員会委員候補者の推薦、諸規程の改正等

事 会 ・ 評 議 員 会	第21回理事会（臨時）	平成29年 6月14日（水）	会長・副会長・理事長・業務執行理事の選定、委員会委員・県スポーツ少年団本部長・副本部長の承認
	第22回理事会（臨時）	平成29年 7月10日（月）	第11回評議員会の招集（書面決議）、理事の選任、副会長の選定
	第23回理事会（臨時）	平成30年 1月17日（水）	平成29年スポーツ協会賞選考、加盟団体分担金等
	第24回理事会（通常）	平成30年 3月14日（水）	定款の変更、平成30年度事業計画及び予算、諸規程の改正
	第25回理事会（臨時）	平成30年 3月20日（火）	第13回評議員会の招集（書面決議）、理事の選任
	第10回評議員会（定時）	平成29年 6月14日（水）	平成28年度事業報告及び収支決算、評議員・理事・監事の選任、名誉会長の推挙
	第11回評議員会（臨時）	平成29年 7月19日（水）	理事の選任
	第12回評議員会（臨時）	平成30年 3月22日（木）	定款の変更、平成30年度事業計画及び収支予算
委 員 会	総務委員会	平成29年 5月24日（水）	平成28年度事業報告及び収支決算、評議員・理事・監事・名誉会長・委員会委員候補者、諸規程の改正等
		平成30年 1月17日（水）	平成29年スポーツ協会賞の選考、加盟団体分担金
		平成30年 3月 9日（金）	定款の変更、平成30年度事業計画及び収支予算、諸規程の改正
	生涯スポーツ推進委員会	平成29年 7月27日（木）	日体協公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦・県民体育大会の交付金等
		平成30年 3月 1日（木）	平成30年度生涯スポーツ関係事業
	選 手 強 化 委 員 会	平成29年 4月14日（金）	平成29年度競技力向上対策費団体対策推進事業費、ぐんまオリンピックピック・パラリンピックチャレンジ事業選手指導者選考、平成29年度強化指定選手及び運動部（冬季競技）等
		平成29年 5月28日（日）	ぐんまスーパーキッズプロジェクト2017選手選考等
		平成29年 7月 6日（木）	第72回国体本大会等支援スタッフ、国体に向けての激励計画等
		平成29年 9月 5日（火）	平成29年度強化指定選手及び運動部等
		平成29年11月 1日（水）	平成29年度強化指定選手の追加等
平成30年 2月14日（水）		ぐんまスーパーキッズ2018新規実施競技並びに実施継続期間等	
平成30年 3月16日（金）		平成30年度競技力向上対策費予算、競技スポーツ推進計画、競技力向上対策事業計画、平成30年度オリンピック・パラリンピック選手支援事業等	
国民体育大会推進委員会	平成29年 6月30日（金）	平成29年度国民体育大会推進委員会予定、国民体育大会参加基準等	

		平成29年 8月16日(水)	第72回国民体育大会本大会選手団第1次選考等
		平成29年 9月 1日(金)	第72回国民体育大会本大会選手団第2次選考等
		平成30年 1月 5日(金)	第73回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団選考等
		平成30年 1月24日(水)	第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団選考等
	スポーツ医科学委員会	平成29年 7月12日(水)	平成28年度事業報告について・平成29年度事業計画について
		平成30年 3月 9日(金)	平成29年度事業報告について 平成30年度事業計画について
諸 会 議 等	加盟競技団体等理事長・事務担当者・選手強化担当者合同会議	平成29年 4月21日(金)	平成29年度事業計画及び予算、その他諸事業について
	監事監査	平成29年 5月23日(火)	平成28年度事業報告及び収支決算に係る会計監査
	第72回国民体育大会本大会競技力検討会議	平成29年11月 15日(水) 16日(木) 17日(金) 21日(火) 22日(水) 24日(金) 28日(火)	第72回国民体育大会の勝因と敗因、第73回国民体育大会に向けての強化計画 第83回国民体育大会を見据えての強化計画
	平成30年度競技団体別選手強化担当者会議	平成30年 3月 7日(水)	平成30年度競技力調査
	第73回国民体育大会冬季大会競技力検討会議	平成30年 3月 9日(金)	第73回国民体育大会冬季大会の勝因と敗因 第74回国民体育大会冬季大会に向けての強化計画 第83回国民体育大会冬季大会を見据えての強化計画

2 事務局の運営

(1) 加盟団体及び群馬県との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア) 賛助会員の募集実績

80件 1,355,000円

イ) オリンピック・パラリンピックに向けての選手競技力向上事業における寄付金の募集実績

16件 2,530,000円

ウ) ぐんまのスポーツ環境整備等支援事業における寄付金の募集実績

2件 2,000,000円